

世界保健機関（WHO）・国際がん研究機関（IARC）の発表について

平成 21 年 8 月 1 日

SPORTARREDO 日本正規総代理店
サンヨージャパン株式会社

この度、世界保健機関（WHO）の国際がん研究機関（IARC）は 7 月 29 日に「日焼けマシンの利用が、がんの発生リスクを著しく高める事は疑いない」と発表し、日本でもニュースで報道されていますが調査の内容が十分に発表されておらず、テレビ・新聞等にも誤解をまねく報道をされた事を残念に思います。

この発表の内容では、「30 歳以前に日焼けマシンを使用した場合、皮膚がんの中で致死性が最も高いメラノーマ（悪性黒色種）の発生の危険性が 75%高まる」とあります、ただこの内容に疑問点は何点かあるのも事実です。

- ① 30 歳以降に使用を開始した場合の危険性は？
- ② 日焼けマシンをどのような使い方をして調べられたものなのか（使用時間・ランプ等）
- ③ 今回調べられた人種は白人種（北ヨーロッパ）なのに、黄色人種（日本人）も含まれているかのような報道がされている。

もともと黄色人種（日本人）は、白人種（北ヨーロッパ系）に比べメラニン色素を作る能力が高い為、紫外線によるがんの発生リスクは低いとされています。今回の報道の根拠となった基礎データは白人種によるもので、黄色人種（日本人）がこのデータにあてはまるとは言いがたいと思われまます。

しかし、日焼けマシンによるリスクは完全に否定できなく、過度に紫外線を浴びた場合リスクを伴う可能性があります、正しく使用すればリスクが高まる事はないと考えられます。日焼けマシンの利用時間につきましては、マシン・ランプ等により異なりますが、ガイドラインに沿った安全な日焼けを楽しめるように心がけて下さい。

日焼けマシンの利用に関して初回の日焼け後は次回のご利用まで 48 時間以上あけて、2 回目以降は 24 時間以上の間隔をあけ、自分にあった利用時間を守り、日焼けマシンを利用する事をお勧め致します。

今まで日本での日焼けマシンによる皮膚がんの発症事例が報告されておらず、弊社も引き続きメーカー等に調査を依頼しております。詳細が分かり次第、報告したいと思えます。

内容をご確認頂き、ご質問などございましたら何時でもお問い合わせ下さい。

宜しくお願い致します。